令和４年度　自己評価表

１．学校の教育目標

基本理念：歯科医療の専門知識と技術の習得を行うとともに、豊かな人間性を育み、学生自らが歯科衛生士としての自覚を持ち、成長する力を身につけるよう導く。

教育目的：

１、医療人としての自覚をもった歯科衛生士の育成

２、地域保健に貢献できる歯科衛生士の育成

３、歯科衛生士を生涯の職業とする確固たる意志をもった人材の育成

２．本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

１、歯科医療の大切さを内外に広く知らしめる

２、社会常識を十分に理解し、自己管理能力を身につける。留年・退学者の減少

３、優秀な人材の充足を確立するとともに、歯科衛生士国家試験合格率１００％の安定化を達成する

３．評価項目の達成及び取組状況

（１）教育理念・目標

評　価　項　目	適切…４、ほぼ適切…３、やや不適切…２、不適切…１
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ ３　２　１
・学校における職業教育の特色は何か	④ ３　２　１
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	４ ③ ２　１
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	④ ３　２　１
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	４ ③ ２　１

①課題

１、在校生（既卒生含む）に対し、礼儀・常識また医療人としての教育の強化。

２、医療を取り巻く環境の変化を認識し、対応できる人材の育成。

３、学校の理念・目標を教職員、学生、保護者が十分に理解し、業界のニーズに即

した人材育成が必要との共通認識を持つ。

②今後の改善対策

１、在校性のみならず既卒生とも関係を強化し歯科医療の重要さ機会あるごとに伝え、継続的なレベルアップを図る
２、高等学校への出前授業やガイダンスを通じ、歯科衛生士を目指す人材を発掘し歯科医療の魅力を伝える
３、社会人としてのマナーの指導を頻繁に行い、身だしなみ等の確認作業を行う。
４、急激な社会環境（医療も含め）の変化に即応できる人材育成の体制作り

（２）学校運営

評　価　項　目	適切…４、ほぼ適切…３、やや不適切…２、不適切…１
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	(4) 3 2 1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	(4) 3 2 1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	(4) 3 2 1
・人事で給与に関する規程等は整備されているか	(4) 3 2 1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	(4) 3 2 1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 (3) 2 1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	(4) 3 2 1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	(4) 3 2 1

①課題

１、教職員に対する運営方針、レポートラインの周知。
２、業界や地域社会に対して、より充実したコンプライアンス体制が必要である。
３、更なる業務の効率化を図り、学生へ還元する。

②今後の改善対策

１、専任会議、教務委員会の活用、報・連・相の徹底
２、業界や地域社会に対して、時代に応じた具体的なコンプライアンス体制を整備していく。
３、授業でのモバイル機器導入の検討。

（３）教育活動

評　価　項　目	適切…４、ほぼ適切…３、やや不適切…２、不適切…１
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④　３　２　１
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④　３　２　１
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④　３　２　１
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④　３　２　１
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	４　③　２　１
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④　３　２　１
・授業評価の実施・評価体制はあるか	④　３　２　１
・職業教育に対する外部関係からの評価を取り入れているか	４　③　２　１
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④　３　２　１
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④　３　２　１
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④　３　２　１
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	④　３　２　１
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	４　③　２　１
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	４　③　２　１

①　課題

・関連分野に関する視点を取り入れた効果ある対策
・専任教員のスキルアップ。
・教育課程の編成・実施方針の見直し
・研修受講後の取り組みができていない

②　今後の改善対策

・関連分野の意見を取り入れたカリキュラムの作成（業者の特別授業など）

・歯科医療現場に即した教材
・専任の講習会への参加機会を増やす
・関連施設などとの連携や交流を増やす
・前・後期のバランスを考慮した時間割の策定
・カリキュラム策定時に意見交換をする。

③特記事項

（４）学修成果

評　価　項　目	適切…４、ほぼ適切…３、やや不適切…２、不適切…１
・就職率の向上が図られているか	④ ３ ２ １
・資格取得率の向上が図られているか	④ ３ ２ １
・退学率の低減が図られているか	④ ３ ２ １
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	４ ③ ２ １
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に.活用されているか。	４ ③ ２ １

① 課題

・国家試験に全員合格させること
・メンタルケアの充実
・卒業後の研修支援、交流の機会を増やす

② 今後の改善対策

・国家試験対策の充実のため、早めの能力確認試験等を実施。
・学業不振者に対するきめ細やかな個別指導。（専任の張り付き指導）
・関連分野と協力し、卒業後の研修支援を行う
・学生の日常の動向に注意する（悩み相談）

・在校生に、現在活躍している卒業生との交流の場を作る
・現場で働くＤＨの声を聴く。卒業後１～２年の卒業生に来校してもらい、学生時代に足りなかった点や、良かった点、状況など現場で働くＤＨの声を聴くことで、学生の意欲の向上に繋げる
・既卒生で国試未合格者に対する早めのフォローアップ

（５）学生支援

評　価　項　目	適切…４、ほぼ適切…３、やや不適切…２、不適切…１
・進路就職に関する支援体制は整備されているか	④ ３ ２ １
・学生相談に関する体制は整備されているか	④ ３ ２ １
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④ ３ ２ １
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④ ３ ２ １
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	４ ③ ２ １
・学生の生活環境への支援は行われているか	④ ３ ２ １
・保護者と適切に連携しているか	④ ３ ２ １
・卒業生への支援体制はあるか	④ ３ ２ １
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	４ ③ ２ １
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④ ３ ２ １

①　課題

・卒業生に対する支援体制（転職相談、スキルアップ、）
・生活困窮者への支援等の情報提供
・学生との対話する時間の不足の解決策
・マナー指導の強化（実習先でのトラブル防止）
・既卒生への実習指導（場所の提供・専任の対応）

②　今後の改善対策

・卒業生に対して学校設備を活用したスキルアップ
・学生に対する一般教養に関する指導（外来講師の充実）
・臨床実習医院との情報交換を密にする。
・生活困窮者が学修を継続できるような行政などの支援活動の周知

③特記事項

新型コロナ禍など公衆衛生における学生の安全・安心を最優先した体制（設備、人員、援助）作りを常に意識しておく。

（６）教育環境

評　価　項　目	適切…４、ほぼ適切…３、やや不適切…２、不適切…１
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④　３　２　１
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④　３　２　１
・防災に対する体:制は整備されているか	④　３　２　１

①　課題

・毎年改修等は行っているが、不十分な面もある。
・モバイル機器の導入
・学内のインフラの整備

②　今後の改善対策

・モバイル機器導入のための小委員会の委員を選出する。
・床・壁などの改修予算の算出
・学生の為のより良い図書を増やす。

③特記事項

（７）学生の受入れ募集

評　価　項　目	適切…４、ほぼ適切…３、 やや不適切…２、不適切…１
・学生募集活動は、適正に行われているか	④　３　２　１
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④　３　２　１
・学納金は妥当なものとなっているか	④　３　２　１

①　課題

・学校ホームページの充実
・広範囲な地域への学生募集活動
・男子学生の受け入れの検討

②　今後の改善対策

・新しいホームページにより、希望者へより多くの情報を伝える。
・遠隔地でのガイダンス参加、高校訪問活動の実施で定員の充足を図る。
・国の方針に沿った学生受け入れ方針の策定

③特記事項

・進路に迷う学生・社会人に、適切で正確な情報伝達（動画配信等）を行い
　歯科医療のすばらしさを理解してもらう。

（８）財務

評　価　項　目	適切…４、ほぼ適切…３、 やや不適切…２、不適切…１
・中長期的に学校の財掛基盤は安定しているといえるか	４　③　２　１
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④　３　２　１
・財務について会計監査が適正に行われているか	④　３　２　１
・財務情報公開の体制整備はできているか	④　３　２　１

①　課題

・増改築なども含めた運営方針の具体策に着手する。

・PC 関連機器の新規導入
・ロッカー、靴箱等備品の更新
・教科書、器材等の金銭的な負担を軽減するための配布品の選定

② 今後の改善対策

・中長期的な運営方針の具体化
・感染予防のための備品購入予算

③特記事項

（９）法令等の遵守

評　価　項　目	適切…４、ほぼ適切…３、やや不適切…２、不適切…１
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ ３ ２ １
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ ３ ２ １
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④ ３ ２ １
・自己評価結果を公開しているか	④ ３ ２ １

① 課題

・学校関係者評価の充実

② 今後の改善対策

・顧問先などと法令や、新制度への対応策をはかる
・定期的な避難訓練や設備機器の安全点検の実施
・自己評価表等の広範囲な開示

③ 特記事項

（１０）社会貢献・地域貢献

評　価　項　目	適切…４、ほぼ適切…３、 やや不適切…２、不適切…１
・学校の教育資源や施設を活用した社会責献・地域責献を行っているか	４　(３)　２　１
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	(４)　３　２　１
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	４　(３)　２　１

①　課題

・専門性を活用し、障害者施設や高齢者施設などを含めた地域貢献
・講師派遣に適した人材育成

②　今後の改善対策

・地域の行事に対する積極的な参加
・高等学校、中学校から依頼がある歯科医療の講義への協力
・企業との連携により、地域の口腔ケア改善に貢献する。

③特記事項

（１１）国際交流（必要に応じて）

評　価　項　目	適切…４、ほぼ適切…３、 やや不適切…２、不適切…１
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	４　３　２　１
・留学生の受入れ巴派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	４　３　２　１

・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	４　３　２　１
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	４　３　２　１

①　課題

②　今後の改善対策

③特記事項

４．学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

今回の自己評価を行った結果は、概ね「適切」といえるものであった。

学校運営、教育活動等においては、現段階でできることを十分に行っており、福岡県南部における、歯科衛生士養成機関としての本校の存在意義は高い。

特に運営に関しては、歯科医師会立という組織構成において、担当役員が交代する場合もあるため、年度ごとに、教育理念や運営方針を周知確認し、改善すべき点については毎度関係者一同で検討している。

設備、備品などの拡充については、遅滞することなく対処できている。今後は施設の老朽化対策も含めて、単発的でなく中長期的な視野で教職員とともに検討し、即応できる体制作りを行っている。

教育活動では、新型コロナ感染禍と言う誰も経験したことのない環境下での教育の在り方、また在校生の健康管理に多大な労力を使い、新たな設備の設置などの費用もかさんだが、ある程度の今後の道筋は見えたように思う。

日々の授業では専門教育や一般教養に関する知識だけでなく、社会に出てからの基本的なマナー等を習得させることができており、よりよい結果に導くことができたと考えられる。今後は、卒業生との交流や多職種との職業の関わりなど、人的交流で学ぶ機会を更に

増やし、歯科衛生士としてのみではなく一社会人としての自覚を育てていく。

国家試験合格については、模擬試験や特別講義などの国家試験対策が十分であるが、卒業試験のあり方と、国家試験受験資格の意味を、教員、学生ともに認識し、学業優先の生活環境を整えるために保護者とも密接な支援体制を確立し、合格率１００％を目標にして努力していきたい。

学生募集については、地域性に主体を置きながらも、九州各地に募集範囲を広げ安定した学校運営に力を入れている。さらに、教職員間の意思の統一を行い、教育成果の評価報告を含め、学生の育成方法について、受験者側への十分な周知が必要と考える。今後とも、歯科医師会立という背景を考慮し、地域に貢献できる人材の輩出を目的に募集対策を行っていく。

今回の自己評価の結果から、問題意識を常にもち、よりよい改善策を関係者全員が有意義に検討し、教育現場としての環境を整えることで、学生に安定した学校生活を提供し、さまざまな人的交流の機会を与えることで、確固たる職業意識を持った歯科衛生士の育成に繋げたい。